

令和5年度 広島県連合小学校長会 活動方針

広島県連合小学校長会は、永年にわたり、学校教育と学校経営に対する真摯な研究と実践を重ねるとともに、教育諸条件の整備に努め、小学校教育のさらなる充実と発展のために鋭意努力を続けてきた。また、令和3年度より組織上分離して活動を進めている広島市小学校長会とは、今後も連携調整・情報の共有化を図りながら、引き続き本県教育の推進を図っていく。

近年、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新、さらには、相次ぐ自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症の影響等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。このような先行き不透明な社会においては、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、多様な他者への理解を深め、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができる人材が必要とされている。

こうした時代の要請に応えるため、学校においては、学習指導要領を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の理念のもとに、「主体的な学び」を促す教育活動の推進、全ての子供の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、「GIGA スクール構想」の推進など、よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にし、社会との連携・協働によりその実現を着実に図っていくことが重要である。

我々は、このような現状を深く認識し、「生涯にわたる人材育成」を掲げる広島県総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」、本県教育施策全般の基本的方向性を整理した「広島県 教育に関する大綱」、さらに広島版「学びの変革」アクション・プランの趣旨を踏まえ、「広島で学んで良かったと思える 広島で学んでみたいと思われる 日本一の教育県の実現」に向け、校長としてより一層リーダーシップを発揮して「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育」を推進し、もって県民の負託に応える学校づくりに努めなければならない。

以上の考え方に立ち、次に掲げる各項を活動の重点とする。

- 1 学校の自主性・自律性を確立し、家庭・地域との連携・協働による教育活動の充実を図り、地域社会から信頼される学校経営を行う。
- 2 校長としての倫理規範を磨き、より一層リーダーシップを発揮し、信頼と秩序に基づく機動的で活力ある学校体制の確立と校内組織の強化を行う。
- 3 全教職員の参画による「カリキュラム・マネジメント」を推進し、創意工夫した教育課程の編成、実施、評価、改善を行い、確かな学力の向上を図るとともに、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に努める。
- 4 子供の自尊感情を高め個性の伸長を図るとともに、生命や人権を尊重する教育の充実に努める。
- 5 明確な人材育成方針や研修体制の充実により、教職員個々の実践的指導力などの向上に努める。
- 6 新型コロナウイルス感染症対策を含めた安全・安心な教育環境づくりを行う。
- 7 教育の質の向上に向けた「学校における働き方改革」を推進し、教職員のワーク・ライフ・バランスの充実、子供と向き合う時間の確保等の教育諸条件の整備・拡充に努める。
- 8 教職員の人的条件整備や処遇の改善に努める。
- 9 校長としての主体性を確立し、会員相互の連帯感を深め、本会の組織強化を行う。